⚠ 製品注意事項

下記の注意事項を熟知した上で当社製品をお取り扱いください。
また、誤った使用や不適切な取り扱い等によって生じた損害については、
当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

①AR-Kシリーズは、転落防止や防護柵としての機能はありません。あくまでも歩行者用の補助手摺になりますので、転落の恐れのある場所への設置はしないでください。また、建物の屋上やベランダ、断崖部などの危険な場所への設置もしないでください。

②本製品の施工は施工知識を有する専門の施工業者が行なってください。施工に不備がある場合、製品本来の強度が得られず破損する恐れがあります。特にアンカー施工においては、躯体の強度が十分である事を確認してください。

③本製品を改造しないでください。手摺を無理矢理曲げたり、違う素材を溶接するなどの改造は、製品本来の品質を損ね、思わぬ事故の原因になります。

④各部を固定しているねじ（ボルト）が緩んだ状態で使用するとねじが欠落して手摺が外れるなどの事故に繋がります。故意にねじを緩めるなどの行為はしないでください。1年に1回以上定期的に点検し、ねじの緩みがある場合は増締めをしてください。

⑤本製品に変形や傷、割れが発生した場合や、ベース固定のアンカーのガタつきや、抜けなどが発生した場合は、そのまま使用すると事故に繋がりますので直ちに修理するか部品の交換をしてください。

⑥故意に手摺に乗ったり、ぶら下がったり、座るなどして遊ばないでください。思わぬ事故の原因になります。

⑦故意に手摺を揺らしたり、衝撃を与えないでください。手摺が変形もしくは破損し、事故の原因になります。

⑧ワイヤーや横桟に足を掛けて乗らないでください。ワイヤーが伸びて外れたり、横桟が破損したりしてけがをする危険があります。

⑨手摺の用途以外では使用しないでください。洗濯物や花壇など重い物を乗せたり、ペットの鎖やテントなどの固定に使用しますと手摺が変形や摩耗、もしくは破損する原因になります。

⑩製品の設計強度は安全に使用するための基準を表しています。設計強度を超えるような荷重をかけないでください。

⑪夏の暑い日はステンレス製の手摺も高温になりますので、二の腕や前腕など皮膚の柔らかい部分が触れると火傷をする恐れがあります。手のひらで注意深く握ってください。また、冬の気温が氷点下の日は、手摺が凍っている場合があり、素手で握ると手が貼り付いて離れなくなり危険です。手袋を着用するなどして、素手では触らないでください。

⑫本製品はステンレス製ですが、全く錆が発生しない材質ではありません。特に海岸沿いなどでは錆が発生する場合があり、また内陸であっても貰い錆などで発生する場合があります。錆をそのまま放置しますと手摺の強度が低下して破損する恐れがありますので、別冊資料〈AR-K 取扱説明書〉の「点検・メンテナンス」を参照して錆を除去し、こまめに表面を清掃してください。

⑬ステンレス以外の異種金属を長時間接触させないでください。腐食の原因になります。

⑭酸やアルカリを用いる場所や急激な温度変化を伴う環境においては、製品の強度が低下する原因になります。そのような環境では使用しないでください。

製品の販売対応について

●弊社では材料の販売のみを行なっており、施工は行なっておりません。施工の不備や、お客様で製品を改造、または加工された場合に生じた不具合や事故には対応できませんのでご了承ください。

※万が一納品時に製品自体の問題が確認された場合には、代替品との交換やその他の対応を取らせていただきますので当社までご連絡ください。

●本製品は自立型手摺セットでの販売となります。使用される各パーツは、単品ごとの販売を行なっておりません。ただし、既に設置された本製品の交換用パーツをご要望の場合は、当社までご連絡ください。

本ウェブサイトに記載されている製品情報について

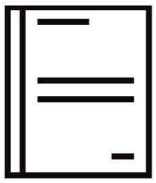
●ウェブサイトに記載されている寸法数値には多少の交差がございます。あらかじめご了承ください。

●製品改良のためのサイズ・仕様等の変更や、製品価格の変更を予告なく行う場合があります。あらかじめご了承ください。

●各製品の画像は実際の色とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

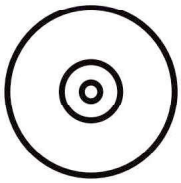
ステンレス製[自立型]角パイプ手摺 AR-Kシリーズ
取扱説明書、DXF/PDFデータCD-ROMのご案内

〈AR-K 取扱説明書〉



●内容：取扱説明、取付施工説明
製品注意事項、点検・メンテナンス

〈CD-ROM〉



●内容：DXF/PDFデータ

上記資料、CD-ROMをご要望の際は、
担当営業までご請求ください。

お問合せはホームページをご覧ください。
www.asano-metal.co.jp 浅野金属 検索

材質について

■ASANO AR-SYSTEM の主要材質

材　質	相当する鋼材	特長および用途
SCS13	SUS304	最も汎用的な材質。 バルブ・ポンプ、建築資材、各種産業部品など。
SCS14	SUS316	SCS13 より耐食性に優れている。 バルブ・ポンプ、食品機械、各種産業部品など。

ステンレスは、表面に形成される独特の保護皮膜によって腐食に強い材質です。
保護皮膜は酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。
ステンレスの表面が汚れている場合、酸素との接触が妨げられるのでサビが発生することがあります。
サビない金属ではなく、サビにくい金属という認識をお願いいたします。

サビが発生しやすい状態
●塩素系洗剤がステンレス部品に付着した場合。
●海岸沿いなどで塩分が付着する場合。
●ばい煙、排ガス、塩酸、温泉蒸気、火山の噴煙などが付着した場合。

「もらいサビ」
上記のような状態では、ステンレスが「もらいサビ」を起こす可能性があります。
他の鉄製製品（釘やボルト、ナットなど）のサビが表面に付着したり、土挨の中の微細な鉄粉がステンレスにこびりつき、雨水などが原因でサビてこびりつくのが「もらいサビ」です。もらいサビは専用クリーナーなどでこすり落としてください。（表面に傷がつくことがあります。）「もらいサビ」が落ちない場合は、サビが進行してステンレス自身にサビが生じたものと考えられます。一旦発生したサビは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意して日頃からこまめにお手入れをしてください。本格的なサビの発生を防ぐことができます。

「電食」
例えばステンレスワイヤーロープにアルミ製クランプ管を使用するなど、ステンレスに異種金属を接続して使用した場合、使用する環境（海水中や水気の多い場所など）によっては異種金属接触腐食（ガルバニック腐食）が生じる恐れがあります。この場合ステンレスはアルミよりも腐食電位が上位の金属であり、下位のアルミの方に腐食が起きてしまいます。
これを「電食」と言います。
ステンレス製品に金具を接続する場合は、同等鋼種のステンレス金具を使用することをお勧めします。

点検/メンテナンス

AR-Kの点検/メンテナンスの詳細については、
製品納品時にお渡しする「AR-K 取扱説明書」に掲載しておりますのでご確認ください。
ウェブサイトのお問い合わせ窓口からご請求いただくか、資料ダウンロードページからダウンロードしてください。

＜維持管理・清掃方法について＞
（1）汚れは、中性洗剤やシンナーで拭き取ってください。
（2）表面に付いたホコリや鉄粉などは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
（3）金属製ブラシや砂入りの粗い洗剤は、キズの原因となりますので使用しないでください。
（4）酸性（例えば塩酸、硫酸、硝酸、苛性ソーダ）あるいは、これらを含むタイル、石材等の清掃薬剤は
　　変色を起こす恐れがありますので使用しないでください。
　　※サビがひどい場合はステンレス用サビ落としの専用クリーナーを購入してください。
　　また、専用クリーナーをご使用の際は注意書きをよく読んでからご使用ください。

その他ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。